

- 本『不登校・ひきこもりが終わるとき』1万部発行記念●
- メールマガジン『ごかいの部屋』本文200本執筆記念●

♡本とメルマガの読者交流会♡

ヒューマンスタンド

～私・わが子・あの人の不登校・ひきこもり～

2019年度もあとわずか。不登校・ひきこもり相談室「ヒューマン・スタジオ」にとっては、メールマガジン『ごかいの部屋～不登校・ひきこもりから社会へ～』のコラム(本文)が200本に、その一部を収録した単行本『不登校・ひきこもりが終わるとき』の累計発行部数が10000部に、それぞれ到達するという記念すべき1年になりました。

そこで、お読みくださっている/くださった方に感謝を込めて、筆者/著者を囲んで交流する機会を設けることになりました。“新ネタ”を入れた記念講演とフリートークで、読者どうしの出会いと再会と語り合いを楽しみませんか。

プログラム

【第1部】筆者/著者から(解説・講演) >13時30分～14時30分

- ① 開会挨拶、メールマガジンと著書の歴史解説(丸山康彦=ヒューマン・スタジオ代表兼相談員)
- ② 記念講演『ひきこもりを知る・考える』(同上)

【第2部】読者から(フリートーク) >14時40分～16時30分

- ① 1周回って生レビュー「読んでどうだった？」(参加者全員)
- ② 自由発言「体験・悩みを出し合おう！」(同上)
- ③ 諸連絡・アンケート記入・閉会挨拶

開催要項

日時：2月29日(土) 13時30分～16時30分

会場：横浜市社会福祉センター903会議室

横浜市健康福祉総合センター内(桜木町駅約3分)

定員：15名(申込先着順・当日申込は要問合せ)

費用：無料

申込：裏面の申込欄に記入してFAX、または同内容をメールで伝達(定員に達したら締め切り)

期間：2月4日まで=メールマガジンと本の両方をお読みの方
2月5日から=どちらかをお読みの方

主催

ヒューマン・スタジオ

藤沢市藤沢19

問合せ・申込

T：0466-50-2345

F：0466-54-7608

M：husta.maru@gmail.com

参加申込欄

FAX: 0466-54-7608

↑
送信方向

※太枠内のすべての欄にご記入ください。本欄で同一世帯のお二人までお申し込みになれます。
 ※「連絡先」欄には、緊急連絡先に使用して差し支えないものを丸で囲んでいただいたうえ、電話またはFAXの場合は番号を、メールの場合はアドレスをご記入ください。
 ※「お立場」欄には、ご自身が当てはまるものすべてにレ点をお付けください。
 ※本欄にご記入いただいた個人情報は、決して外部に漏らさず厳重に管理いたします。

お名前	様	ご住所	都道府県	市区町村
お名前	様	連絡先	TEL FAX MAIL	
お立場	<input type="checkbox"/> 当事者経験者 <input type="checkbox"/> 家族・親族 <input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> マスコミ <input type="checkbox"/> 一般 (<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 学生) <input type="checkbox"/> 関係者 (<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 心理 <input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> その他:			
読者歴	『ごかいの部屋』	<input type="checkbox"/> 登録読者 (約 月)	<input type="checkbox"/> 読んだことある	<input type="checkbox"/> 読んだことない
	『～終わるとき』	<input type="checkbox"/> 読了した	<input type="checkbox"/> 今読んでいる	<input type="checkbox"/> 読んでいない

評価高い丸山の執筆活動

本になったメールマガジン

メールマガジン『ごかいの部屋～不登校・ひきこもりから社会へ』は、ヒューマン・スタジオの看板業務でありアイデンティティ。

内容は単なる体験談でも専門的理論や支援の事例集でもなく、当事者経験と援助経験を融合して本人の言動の意味や本人の意思に沿った対応を導き出す「体験的不登校・ひきこもり論」です。その一部を収録した著書『不登校・ひきこもりが終わるとき』は、出版5年余りで発行部数が1万部の大台に乗ったロングセラー。今をときめく当事者活動家や研究者の多くが愛読し影響を受けています。

『ごかいの部屋』読者の声

「読まなかったら傲慢な母のままでした」「いろいろな本を読みましたが『ごかいの部屋』がいちばん参考になります」「読んでいると過去の不登校を今体験しているかのように思えてきます」「このメルマガはみんなの味方です」

『不登校・ひきこもりが終わるとき』読者の声

「この本ほど当事者の心境を表しているものは見つかりませんでした」「不登校・ひきこもり理解の完成形という気がします。たぶんこれ以上の本は当分でないでしょう」「実体験から深い思索を重ねた内容は<生きる>ことを問うていて、誰にとっても示唆深い」

筆者/著者=丸山康彦

不登校のため高校を7年かかって卒業。大学卒業後、高校講師、ひきこもりを経て1999年度から対人援助の研修や不登校支援活動に参加。2001年10月にヒューマン・スタジオ設立。相談業務と家族会とメールマガジンを3本柱としながら、近年は相談員講座など新しい業務を実施。現在「ひきこもり つながる・考える神奈川ネットワーク」代表をはじめ、ひきこもり関係の活動に数多く参画している。講演多数。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*

会場案内

